



2月 こぐまだより

2026年2月2日 発行
社会福祉法人尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ2



大きな行事を経験し、たくさんの人の前で堂々と演舞した子どもたち。その姿はとても頼もしく、この経験が子どもたちを一回りも二回りも成長させてくれたように感じます。進級が近づく中で、子どもたちは「もうすぐばんだ組さんになるんだよ」と嬉しそうに話し、期待に胸をふくらませています。新しいクラスへの喜びを一緒に味わいながら、これからも園庭で思いきり体を動かして遊ぶこと、自然に触れること、友だちや保育者との関わりを深めることを大切にしていきたいと思います。

今月の保育のねらい

- 友だちや保育者と一緒に言葉のやり取りをしながらごっこ遊びを楽しむ。
- 身近な自然に触れながら寒い時期を健康に過ごせるようにする。



【自分でできるよ！一人でもできるよ！】

最近の子どもたちは、“自分でできるよ！ 一人でもできるよ！”という気持ちがぐんと育ってきています。着替えや排泄のタイミングでは、シャツやズボンの着脱に挑戦する姿が多く見られるようになりました。「手はここに通してみてね」「ひっぱってみようか」など、必要に応じて声をかけたり、そっと手を添えたりしながら見守っています。できた瞬間の“できたよ！”という嬉しそうな表情は、子どもたちの大きな自信につながっています。この達成感を積み重ねながら、これからも自分でやってみようとする意欲を大切にしていきたいと思います。

また、着替えた衣服を自分で袋に入れることにも取り組んでいます。入れ間違いがないように保育者も見守っていますが、万が一、衣服の入れ違いや不足などがありましたら、お気軽にお声掛けください。

☆楽しかったお楽しみ会☆

お楽しみ会へのご参加ありがとうございました。子どもたちは、この日に向けて日々楽しんでいました。ご家族の声援のおかげで大勢の人前の大きな舞台に立つ経験、体験が子どもたちの自信に繋がることとします。



【トイレトーパーを使ってみよう】

進級に向けて、子どもたちが自分でトイレトーパーを使ってみる経験を積めるよう、日々の活動の中に取り組みを取り入れていきます。これまでは、保育者が準備したティッシュを使って後始末をしていましたが、これからは「自分でトイレトーパーを切り取って使う」ことに挑戦していきます。2階の幼児用トイレでは、すでにトイレトーパーを使う体験をしています。どのくらいの長さを切ればよいのか、どうやって切り取るのか、といった具体的な動作も、遊びや活動の中で楽しく学べるよう工夫していきます。時には幼児クラスのトイレまで行き、実際にトイレを使用してみる経験も取り入れながら、少しずつ「自分でできること」を増やしていきたいと思います。最初はうまくいかないこともあるかもしれませんが、「やってみよう」という気持ちを大切に、保育者がそばで見守りながら、一人ひとりのペースに寄り添っていきます。進級への期待感や、「自分でできた！」という達成感を積み重ね、自信へとつなげていけるよう、これからも丁寧に関わっていききたいと思います。

- ① トイレトーパーの端を見つける
 - ② 目安となるひもをホルダーの側に吊り下げる
 - ③ ゆっくり引き出す
 - ④ ちぎる
 - ⑤ おしりを拭く
- などの手順で行っていききたいと思います

